

text: Kenji NAKAMOTO (中本 健二)
photo: Keigo YAMAMOTO (山本 佳吾)



記念の年ならではの面白さ

「極上の車旅」をテーマに掲げられている1泊2日の公道ラリーが「ヒストリックカーミーティング」だ。参加車両は、1980年までに生産されたスポーツカー、及びスーパーカーとなっている。開催地は伊勢、志摩地方で、前回のイベント終了時に「式年遷宮で盛り上がる神宮（伊勢神宮）を盛り込みたい」と主催者が語ったとおり、コースにはお伊勢参りが盛り込まれ、参加者の多くが驚かされた。神宮最寄りの駐車場が参加台数分確保されており、当日は渋滞次第では取りやめもアナウンスされていたが、主催者の努力が報われて無事に参拝することができた。

そして2日目には、もはや恒例となっている伊勢志摩スカイラインを一時封鎖して行われるロングPCも開催。スカイラインは神宮が近く、バスの駐車場として利用されていたため、直前まで許可が下りなかったが、粘り強い交渉の結果、開催前日に許可が下りたという。



南伊勢町の賢浦漁港で昼食休憩を挟んで、3連続PC競技が行われた。地元から多くのキャラギーがつかけていたため、参加者の気合も十分。

式年遷宮で大いに盛り上がる伊勢志摩は、多くの観光客が詰めかけているため、プログラムは制限されるのでは？と予想していた。しかしその予想は見事に裏切られ、20年に一度しか味わうことの出来ないプログラムが組み込まれ、体験できたのだ。参加者はいつでも前回以上のイベントを期待するものだが、今回もそれを上まわる内容で、2日間の公道ラリーは大団円を迎えたのだった。



南伊勢の協力で、昼食は新鮮な海産物が振る舞われた。三重県内で漁獲されたマグロの稚魚を養殖する「伊勢まぐろ」のどんぶりや、カキ、干物などが提供された。



メッセウイング・みえを30秒ごとにスタートしている参加車両たち。上位入賞者たちはコンマ1秒以下の誤差でスタートを切る。



地元の観光地を巡ることもこのイベントの大きな特徴だ。写真は道の駅「紀伊長島マンボウ」に設けられたチェックポイント。ここでは参加者全員にミカンが配られた。後方にうすらすと写る街灯も、なんとミカンのデザイン!



EVENT DATA

ジャンル:公道ラリー
エントリー車両:1980年までに生産されたスポーツカー
開催日:2013年12月7日-8日
開催地:愛知県 伊勢、志摩地方
問い合わせ:ヒストリックカーミーティング実行委員会
URL: <http://historiccarmeeting.com/>

Report Memo

公道ラリーの競技性に加えて、伊勢神宮や、伊勢志摩スカイラインなど伊勢や志摩の観光スポットに数多く立ち寄ることができる。1泊2日のイベントスケジュールで、ワインディングや美しい海を見ながら走るルートが多く、ロケーションも大きな魅力となっている。

モディファイのポイントは……



オースチン・ヒーレー100で参加の杉本忠昭さん、石黒敬三さんコンビ。石黒さんは普段はイベントのスタッフだが、今回はコドライバーとして楽しむ。ボディサイドには嬉しいことに、カーマガジンの特製プレートが装着されていた。

最高の景色をひとり占め

2日目のメインプログラムと言える、クロースドでの伊勢志摩スカイラインの走行。もちろんスピード競争ではなく、アペレージスピード50km/hで規定区間を走るというもの。コーナーの曲率や勾配が変わるため、目標タイム通りに走るには至難の技だ。



式年遷宮で盛り上がる神宮

周辺道路の混雑次第では中止もアナウンスされた神宮への参拝だったが、主催者の努力の甲斐あって見事に実現。神宮の近くに50台以上の駐車場を確保するだけでもかなりの苦勞を要したことだろう。ここでは参宮の記念品も配布された。



参道にはお土産品の定番「赤福」本店や、地元で愛される伊勢うどんのお店、てこね寿司など地元の味も楽しめる岩戸屋など、見どころも誘惑が多かった。



パールロードの走行を楽しむ参加車両たち。信号が少なく、また走行車両も少なかったため気持ちの良いツーリングコースとなっていた。BMW600やプリストル403など希少なクルマも走行を楽しむ。



初参加のラリーを満喫

アルファ Romeo ジュリア スパイダーで参加の加藤敬明さん、由美子さんペアは今回が初参加。「今回は、所有するクルマの中から信頼性の高いジュリアで参加しました」とのこと。伊勢志摩スカイラインの走行を楽しむ。



左からBクラス2位、総合結果でも2位に入ったトヨタ2000GT、フェラーリF355でエントリーの樹橋ペアは見事にCクラスを制覇した。ローバー3500で参加の岩崎さん家族。ロータス・エランで参加の澤村さんペアは、じゃんけん大会に景品を持ち込み表彰式を大いに盛り上げた。



4連続PCへ挑んだ後は、ようやく1日目のゴールとなるホテル近鉄アควアヴィラ伊勢志摩へ到着となる。この後は、ディナーパーティーで盛り上がる。



2日目は、8:15に1号車を先頭、再び30秒ごとにスタートしていく。ボルシェ911RSでスタートを切るはこのイベントの常連、田中孝一さん、まち子さんペア。



大王崎波切漁港に接地された2連続PCへジャガー・EタイプSr.1で挑む三野正樹さん、千明さんペア。コンスタントに得点を重ね、見事クラス優勝に輝いた。



福岡県から356Aカプリオレで参加の吉塚晋一郎さん、由加里さんペアは、惜しくもクラス2位を獲得。PCを待つエントラントには、さいら館(さんま)が振る舞われた。



タラサ志摩のエンタランスに並ぶ参加車両。まるで、コンクール会場のような光景だ。ランチのコース料理を堪能した後は、2日目のメインプログラムともいえる、伊勢志摩スカイラインへ向かう。



Car Mag's Pick Up

総合優勝はTR3を駆る安藤ペア



Bクラスを制覇し、同時に総合優勝も果たした安藤武彦さん、佳代さんペアが前回に引き続き連覇を達成。次回からは最優秀のアドバイザーとして参加する。前回優勝した際、必ず連覇するという言葉を見事に達成しての栄誉だ。